

# MUSIC DIALOGUE IN KYOTO VOL.3

京都国立博物館開館120周年記念

メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲第1番 ニ短調 作品49  
Felix Mendelssohn : Piano Trio No.1 in D minor Op. 49

ブラームス：ピアノ四重奏曲第3番 ハ短調 作品60  
Johannes Brahms : Piano Quartet No.3 in C minor Op. 60

演奏終了後、演奏者とお客様との対話（ダイアログ）の時間がございます。



博物館でロマン派の名曲を—



6.24 <sup>2017</sup> 土 17:30開演（17:00開場）京都国立博物館 平成知新館地下1F講堂

主催：一般社団法人 Music Dialogue 共催：京都国立博物館 お問い合わせ先：info@music-dialogue.org

photo / Taira Tairadate



# Music Dialogue in Kyoto vol.3

## 京都国立博物館開館120周年記念

主催：一般社団法人 Music Dialogue 共催：京都国立博物館

### 博物館でロマン派の名曲を—

京都国立博物館は帝国京都博物館として1897年に開館し、今年で120周年を迎えました。オープン当初から残る煉瓦造りの明治古都館は、まさにその長い歴史のシンボルと言えます。博物館が開館した19世紀末、ヨーロッパは絢爛たる文化が至る所に花開いた、後期ロマン派芸術の絶頂期と呼ぶに相応しい時代を迎えていました。音楽もその例外ではなく、リストやワーグナー、マーラー、そしてブルックナーといった大作曲家たちが数多くの作品を残しています。今回とりあげるブラームスも、後期ロマン派を代表する作曲家・ピアニストであり、奇しくも同じ120年前に、63年の生涯を閉じました。本演奏会ではブラームス中期の名作であるピアノ四重奏曲第3番に加え、ロマン派中興の祖であるメンデルスゾーンの名作・ピアノ三重奏曲第1番もあわせてお届けいたします。

初夏のひとつ、博物館で120年の歴史を間近に感じながらロマン派室内楽の珠玉の名曲をどうぞお楽しみください。

### Music Dialogueとは：

様々な「対話 dialogue」を通じて、室内楽から得られる深い喜びをより広い方々に知っていただくことをミッションとする一般社団法人です。世界的指揮者でありヴァイオリニストである大山平一郎が芸術監督を務めています。

Music Dialogueは大山を中心とした質の高い室内楽のコンサートをお客様に提供するだけでなく、作曲家や奏者の意図・内面性を聴衆の皆さまにもより深く共有していただくために、作品を通じた作曲家と演奏者との「対話」、演奏家同士の「対話」に加えて、演奏を聞いていただく方々とも「対話」の機会を設けています。

また、様々な異分野で活躍する方々との対話（コラボレーション）を行うことで、新しい室内楽の楽しみ方を提供しています。私たちはそうした室内楽の普及に加え、国内の若い音楽家を世界一流の音楽家へと育てる活動にも取り組んでいます。若き才能を育てるためにも「対話」は必要不可欠です。

このような内・外を向いた「対話」をミッションに掲げる私たちの活動は多岐にわたり、演奏場所も音楽専用ホールにとどまらず、美術館や歴史的建造物、ホテルといった、より手軽に対話を楽しむことができる場所を選んで活動を行ってきました。そうした活動は社団法人発足から三年を経て、少しずつ広がっています。

ウェブサイト [www.music-dialogue.org/](http://www.music-dialogue.org/)  
Facebookページ [facebook.com/m.dialogue/](https://www.facebook.com/m.dialogue/)

# music dialogue



**酒井 有彩 (ピアノ)** Arisa SAKAI, piano  
奈良県出身。文化庁新進芸術家在外研修員、明治安田クオリティオブライフ文化財団奨学生として、ベルリン芸術大学を最優秀で卒業。国家演奏家資格を取得。ポーランド国立放送響、リベランプレート響、大阪交響楽団、モディリアーニ弦楽四重奏団などと共演。CHANEL Pygmalion Days アーティスト。



**伊東 真奈 (ヴァイオリン)** Mana ITO, violin  
奈良県出身。東京藝術大学音楽学部を経て、同大学院修士課程修了。院在学中にパリのスコラ・カントルム音楽院に2年留学。松方ホール音楽奨励賞受賞。藝大卒業時に同声会賞受賞。リゾナーレ室内楽セミナーにて「緑の風賞」受賞。リゾナーレ音楽祭参加。JTが育てるアンサンブルシリーズなど出演。



**大山 平一郎 (ヴィオラ)** Heichiro OHYAMA, viola  
京都府出身。英国ギルドホール音楽学校を卒業。1979年にLAフィルの首席ヴィオラ奏者に任命された後、同楽団の副指揮者に任命される。現在、サンタバーバラ室内管弦楽団音楽監督、CHANEL Pygmalion Days 室内楽シリーズ・アーティストティック・ディレクター、Music Dialogue 代表。



**加藤 文枝 (チェロ)** Fumie KATO, cello  
京都府出身。東京芸術大学、同大学大学院卒業。学内にて安宅賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞受賞。パリ市立音楽院首席卒業。ピバホールチェロコンクール第1位。東京音楽コンクール弦楽部門第2位。FLAME国際コンクール第3位。京都市芸術文化特別奨励者。CHANEL Pygmalion Days アーティスト。

### チケット料金、ならびにお申込みについて

一般 3,500円 学生 2,000円 ※当日学生証を拜見します

料金は当日受付にてご精算ください。

京都国立博物館 名品ギャラリー観覧券付。開演までの間にどうぞご覧ください。



チケットご予約の際は、下記ウェブページよりお申込みください。左のQRコードからもアクセスいただけます。

チケットご予約専用申込みページ <http://urx.mobi/B9e9>  
お問合せ先 [info@music-dialogue.org](mailto:info@music-dialogue.org)

### 会場へのアクセス



- ◆JR・近鉄/京都駅下車、市バスのD2乗り場から206・208号系統、D1乗り場から100号系統にて博物館・三十三間堂下車徒歩すぐ。プリンセスラインバス京都駅八条口乗り場から京都女子大学前行にて東山七条下車徒歩1分
- ◆京阪電車/七条駅下車、東へ徒歩7分
- ◆阪急電車/河原町駅下車、京阪電車あるいは市バス207番にて博物館へ  
ご来館にはなるべく公共交通機関をご利用ください  
駐車場は台数に限りがあります(有料)